

## プラスチックは貴重な資源 プラスチック分別収集スタート

7月20日、松橋町の北11区で「その他プラスチック」の分別収集が始まりました。これは、9月から市内全地区で開始する「その他プラスチック」収集の試験的な取り組みで、北11区の3カ所の分別収集会場で先行して行われました。

この日は、前もって行政区の回覧板で知らせてあったため、ペットボトルのラベルやレジ袋などを持ち込み、分別方法などを地区役員に尋ねる市民の姿を多く見かけました。

「洗う手間が面倒だが、可燃ごみの袋に入れて出すごみの量が減る」「日常生活での買い物にいかにかプラスチックが多くあるかについて気付かされた」などの感想が聞かれました。



プラスチックは「出せるもの」と「出せないもの」があります

## 小川キングリバーズ県大会優勝



やったぞ！九州大会だ！

「第25回ろうきん旗学童軟式野球熊本県大会」が7月12日から始まり、19日、水前寺野球場で準決勝・決勝が行われました。各地区の予選大会を勝ち進んできた32チームが参加。

宇城市から参加した小川キングリバーズ（小川町）は、県内の強豪を次々に撃破すると、決勝戦でも中島サンダース（熊本市）を12-11で下し、みごと初優勝しました。

小川キングリバーズは、平成19年4月創部。野村智明（小川町江頭）監督のもと小学1年生から6年生の部員25人が稲川グラウンドで元気に練習に励んでおり、チームは8月23日から宮崎県西都原市で開かれる九州大会に出場します。

## 不超大物にびっくり！ 不知火干拓でスッポン捕獲

豊野町上郷の谷川親満さん（66歳）が、7月21日に宇城市小川町の不知火干拓で体長50センチ・重さ4.5キロ程のスッポンを釣り上げました。

谷川さんは、毎年この時期になると宇城市内の池や沼などでスッポンやウナギなどを釣ることを趣味としています。今年も30匹ほどのスッポンを釣り上げており、その中で今回釣り上げたのが一番大きいとのこと。

谷川さんは「釣り上げた獲物は近日中に友人とスッポン料理にし、味を堪能し、夏ばて防止とし、猛暑を乗り切りたい」と話していました。



これは大物だ！



多くの人出でにぎわいました



グランプリの「熊本城築城400年」

## 小みごとな作品がずらり！ 小川阿蘇神社夏祭り 造り物大会

「小川阿蘇神社夏祭り造り物大会」（町商店街振興会主催）が7月15日、小川町商店街一帯で開催されました。各種団体の自慢の力作、計11基が展示。

歩行者天国となった商店街は、商工会女性部による小川名産「白玉冷やし団子」の無料サービスやハワイアンショー、ストリートライブなどがあり、また、お祭り広場では、商工会青年部によるビヤガーデンが開設され、アームレスリング選手権大会やカラオケ大会、コーラの早飲み大会などがありました。

14日の造り物の審査では、グランプリの市長賞に、寺町の「熊本城築城400年」が選ばれました。

## 大ヨットのジュニア世界選手権に出場 大嶋龍介さん激励会

7月11日、ポーランドで開催されるヨットのジュニア世界選手権に出場する同校出身の大嶋龍介さん（福岡経済大学2年生）を応援しようと激励会が不知火小学校で開かれました。

激励会では大嶋さんのヨットや指導者・仲間との出会いが紹介された後、大嶋さんが去年の国体出場の際に子どもたちから送られた応援の手紙に関してお礼や、これからの目標などを語りました。

子どもたちからは「好きなことを全力でやれることは素晴らしいことだと思います。全員で応援します」などのエールとともに、みんなで応援メッセージを寄せ書きした国旗が贈られました。



応援メッセージに喜びの大嶋龍介さん

## 中伝統文化や給食で交流 中国南寧市教育研修代表団来訪



相互の訪問活動は今年で4回目になります

7月8日、松橋中学校（林秀文校長）に中華人民共和国の南寧市教育研修代表団75人が訪れました。

宇城市では国際理解教育特区の取り組みの一つとして、中国南部の南寧市第14中学校と交流を行っています。

体育館で行われた歓迎会では、松橋中学校の生徒による邦楽・日舞・吹奏楽などが演じられました。その返礼として、南寧市の生徒からは、北京オリンピックの歌や中国独特の楽器の演奏などが披露されました。中でも、瞬時に面が変わる「変面」の芸能には、ひときわ大きな歓声が上がり、盛大な拍手が寄せられていました。